夢だより 第44号

佐世保市立吉井中学校
校長　柳原　秀一　H29.9.1（金）

「本気」になれるか？！

いよいよ、今日から９月がスタートします！１２月までの４ヶ月間ですが、季節は夏から秋へと変わり、昔から「〇〇の秋」と言われるように、何をするにもやりやすい気候になります。主な行事をあげてみると、文化祭、修学旅行（２年生)、職場体験（３年生)、市駅伝大会、生徒会役員選挙があります。また、前期の通知表が出るとともに、３年生は進路決定の大切な時期を迎えます。

吉井中学校の指導方針の一つに「学校行事は生徒が作る」というものがあります。先生方は指導を行いますが、あくまでも「生徒が主役」として活動する学校行事を目指しています。時間がかかったり、うまく話し合いが進まなかったり、失敗する部分もあったりしますが、「艱難辛苦汝を玉にす。」という言葉があるように、自分たちの成長のためでもあります。

そこで、次の言葉をみんなで考えましょう。

「　なんでもいいからさ　本気でやってごらん
　本気でやれば　たのしいから
　本気でやれば　つかれないから
　つかれても　つかれが　さわやかだから　」　（相田みつを）

勉強も部活動や習い事も、それこそ恋も“本気”になっていますか。私たちは「頑張りました。」「精一杯やりました。」「自分なりに努力しました。」など口にすることがありますが、“本気”という視点で今一度振り返ってみましょう。あなたは“１００％の本気でやっていますか？”本気度を測る方法や数値はありませんが、一つ言えることは、周囲の人が「あなた、最近変わったね。」と自分の変化を認めてくれた時が、本気オーラが周囲に伝わった時ではないでしょうか。

例えば、夏休み前に第１回生活・学習調査をしました。「平日、１日当たりどのくらい勉強しますか。(家庭教師、塾も含む)」という問いに対して、学習時間が１時間に満たない生徒が全体で２１％でした。約３３人の生徒が１時間も勉強していないということになります。これでは“本気で勉強している”とは言えませんね。勉強だけではなく、何事にも“本気”で取り組む４ヶ月にしましょう。